

2021年度第2四半期

不二サッシグループ 決算説明資料

2021年11月4日

不二サッシ株式会社

2022年度3月期の期首より収益認識に関する会計基準等を適用しております。

しかしながら、当資料においては前年度との比較のため当該会計基準等適用後の数値に対し、影響額を加味した数値を従来の方法で算出したもの（適用前）と仮定し説明しております。

当該会計基準等適用による2022年3月期の売上高および営業利益への影響額は各スライドに記載しております。

I. 2021年度 第2四半期決算の概要

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 予想
非木造建築物着工床面積(万㎡)	7,514	7,010	6,452	6,770
前年比(伸び率)	-2.8%	-6.7%	-8.0%	4.9%
新設住宅着工戸数(万戸)	95.3	88.4	81.2	84.5
前年比(伸び率)	0.7%	-7.3%	-8.1%	4.0%

※実績は国土交通省 建築着工統計調査より

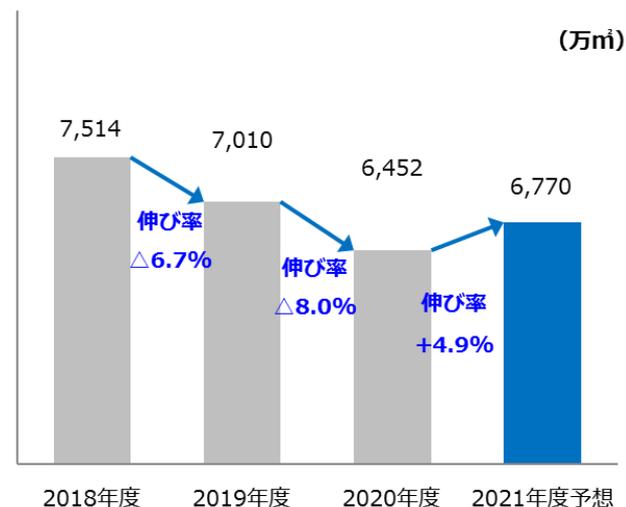
■ 非木造建築物着工床面積

長期的な見通しでは減少傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で減少した需要が回復傾向にあり、2021年度については前年比で増加を見込んでいます。

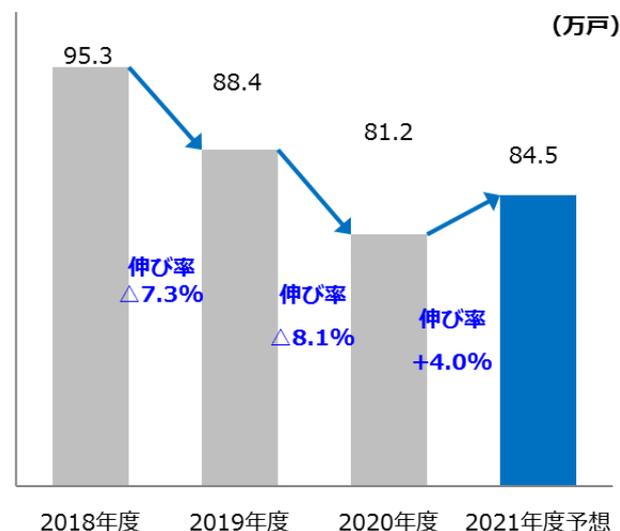
■ 新設住宅着工戸数

マンションは減少したものの、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き、持家を中心に回復傾向にあり、2021年度については前年比で増加を見込んでいます。

非木造建築物着工床面積(4-3月)



新設住宅着工戸数(4-3月)



2021年度 第2四半期決算の業績について

【連結】

(百万円)

	2020年度上期		2021年度上期					
	適用前		適用前		前年同期比		適用後	
	適用前	売上比	適用前	売上比	増減額	%	適用後	売上比
売上高	37,526		33,918		△3,608	90.4	40,383	
売上原価	32,525	86.7	28,498	84.0	△4,027	87.6	34,989	86.6
売上総利益	5,001	13.3	5,420	16.0	418	108.4	5,394	13.4
販管費	6,455	17.2	6,303	18.6	△152	97.6	6,314	15.6
営業利益	-1,454	-3.9	-882	-2.6	571	-	-920	-2.3
経常利益	-1,268	-3.4	-698	-2.1	570	-	-735	-1.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	-1,485	-4.0	-	-	-	-	-1,001	-2.5

- ビル新築事業の営業強化による利益率良化、形材外販事業の収益改善や環境事業の利益増加に加え、コスト削減推進による販管費の減少により赤字幅が縮小。

セグメント別 売上高・営業利益

【連結】

(百万円)

	売上高				営業利益			
	2020年度		2021年度		2020年度		2021年度	
	適用前 上期	適用前 上期	対前年比	適用後 上期	適用前 上期	適用前 上期	対前年比	適用後 上期
建 材 事 業	26,625	22,170	83.3% △ 4,455	28,830	-251	-227	- 25	-265
形 材 外 販 事 業	8,572	9,070	105.8% 498	9,070	-661	-296	- 364	-296
環 境 事 業	1,280	1,546	120.8% 265	1,350	9	146	1,622.2% 137	146
物 流 事 業	839	1,006	119.9% 166	1,006	127	153	120.5% 26	153
そ の 他 事 業	209	125	59.8% △ 83	125	80	61	- △ 19	61
(消去又は全社)	-	-	-	-	(758)	(719)	38	(719)
合 計	37,526	33,918	90.4% △ 3,609	40,383	-1,454	-882	- 571	-920

(注) 2020年度上期より、従来「運送事業」としていた報告セグメントの名称を「物流事業」に変更しております。
この変更は、セグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

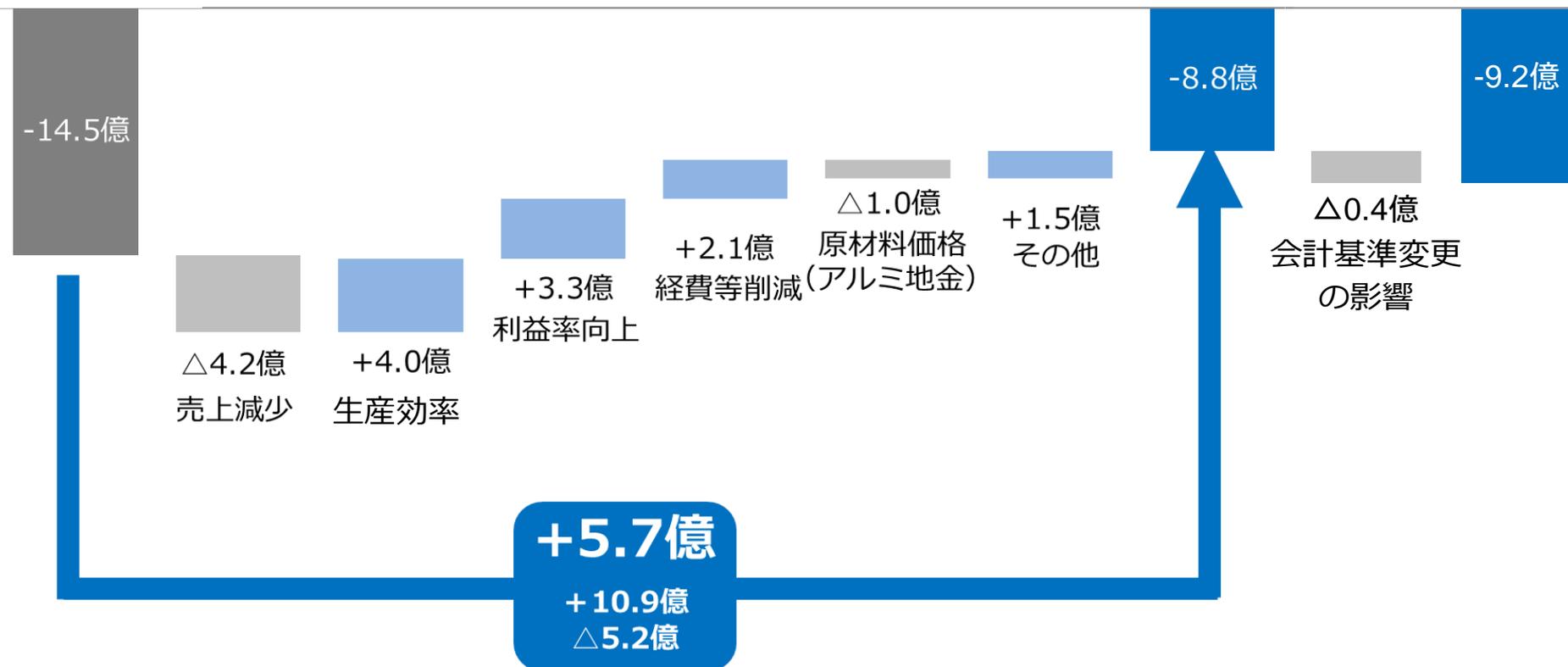
- 建材事業は利益率が良化、形材外販事業、環境事業および物流事業は売上、利益共に良化、その他事業は減少

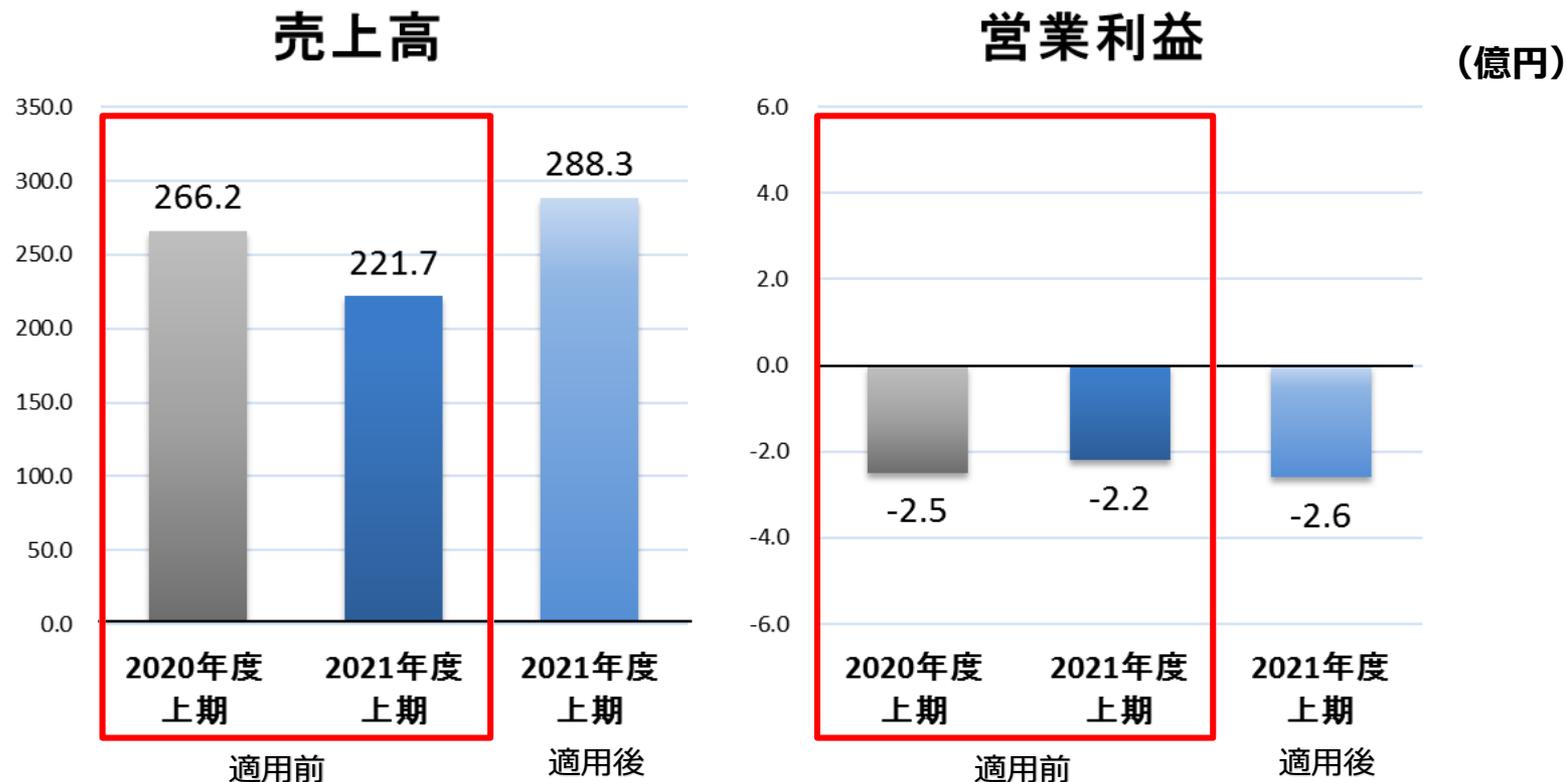
営業利益増減分析（前年比・要因別）

適用前
2020年度
上期

適用前
2021年度
上期

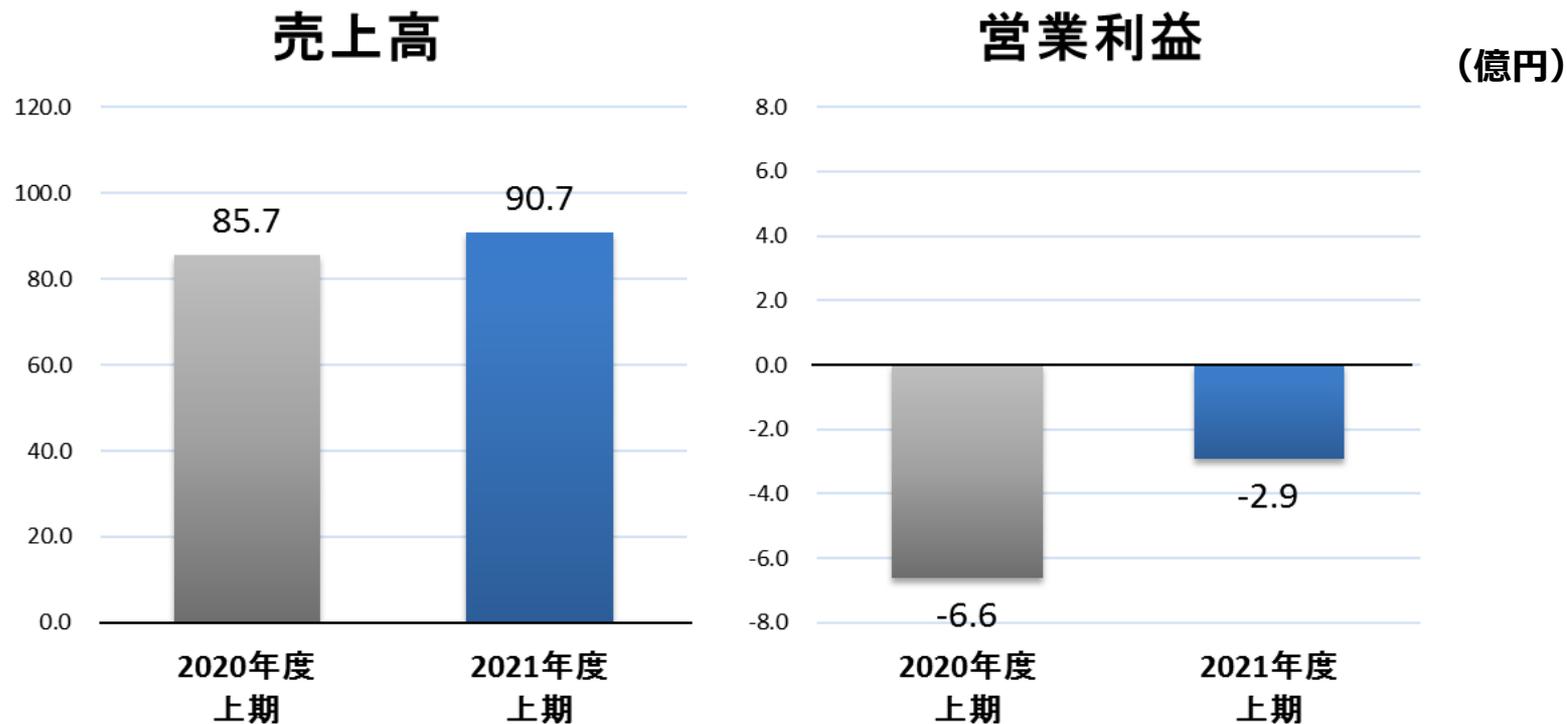
適用後
2021年度
上期





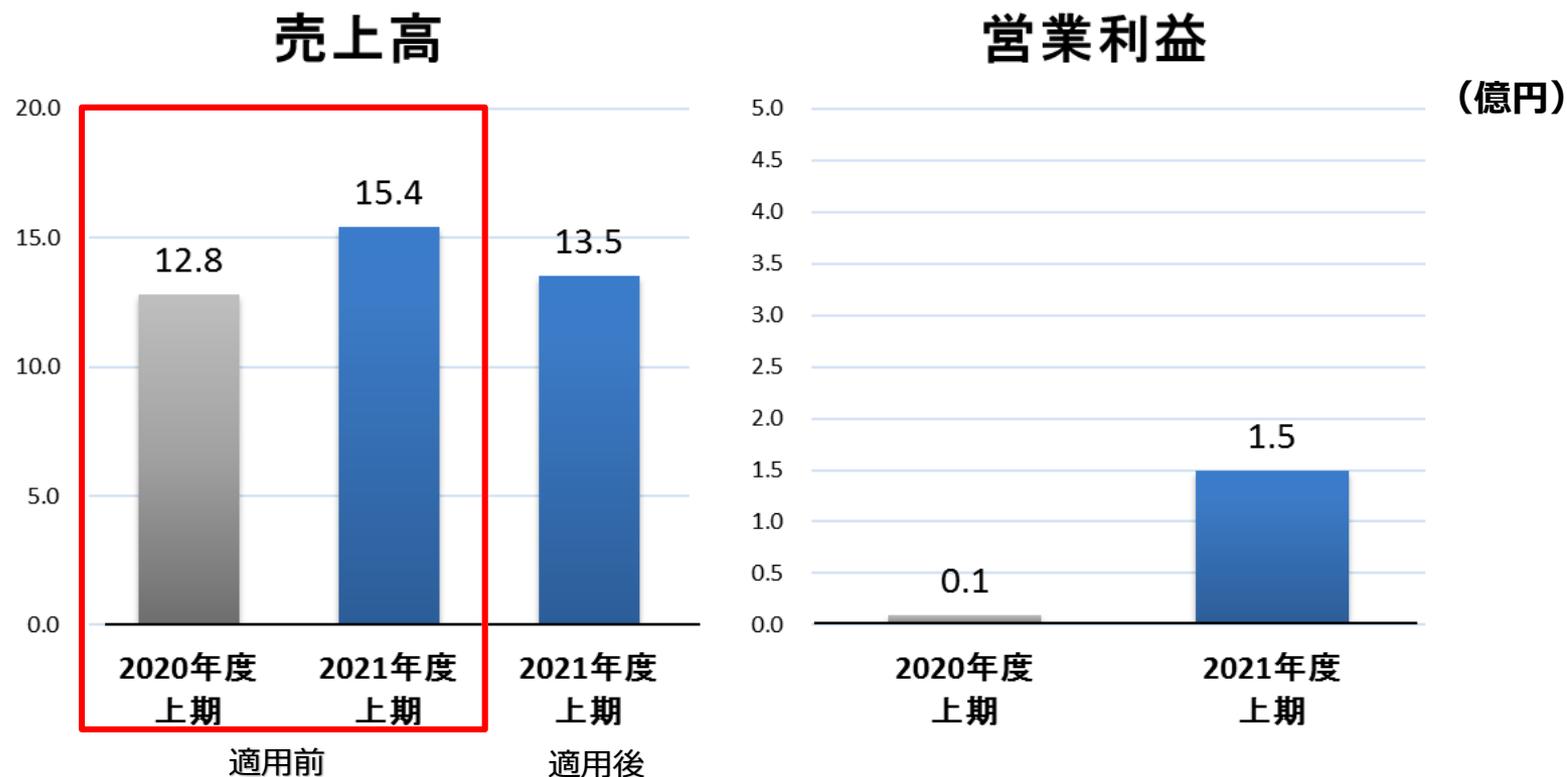
■ 売上高・営業利益

リニューアル事業は前年との受注差により収益が悪化したものの、ビル新築事業の営業強化と住宅建材事業の市場の回復傾向により利益率は良化。収益認識会計基準等の適用により、売上高は66億6千万円増加、営業利益は3千7百万円減少。



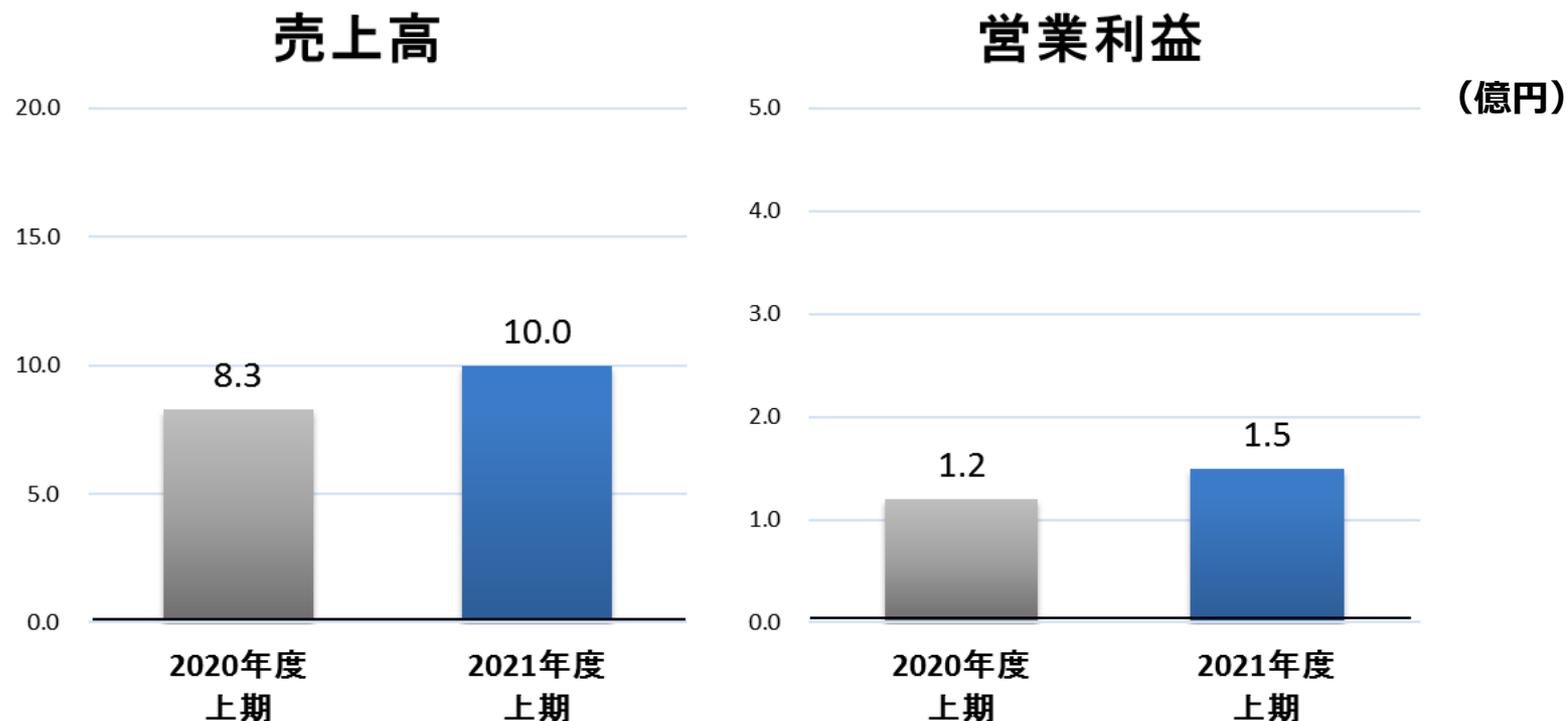
■ 売上高・営業利益

市場環境の回復傾向やアルミ地金の高騰による売上の増加に加え、生産体制の見直しや不採算取引の改善等により増収し赤字幅を縮小。



■ 売上高・営業利益

市場環境の変化による薬剤販売減少の影響があるものの、工期短縮による影響やプラント部門の営業強化等により利益を確保。収益認識会計基準等の適用により、売上高は1億9千5百万円減少、営業利益への影響は無。



■ 売上高・営業利益

サッシ・形材の物流および一般物流の物量の回復に加え、
営業倉庫新設等による保管事業の強化により利益を確保。

連結貸借対照表要旨

(百万円)

	2021年 3月末	2021年 9月末	前期末比
現金及び預金	16,583	13,362	△ 3,221
売上債権	18,911	22,082	3,171
たな卸し資産	16,606	6,542	△ 10,064
貸倒引当金	-646	-650	△ 4
その他	1,519	1,564	45
流動資産計	52,974	42,901	△ 10,073
建物及び構築物	7,946	7,779	△ 167
土地	13,729	13,729	0
その他有形固定資産	7,773	7,648	△ 125
投資有価証券	2,879	2,919	40
貸倒引当金	-935	-921	14
その他固定資産	7,333	7,158	△ 175
固定資産計	38,727	38,313	△ 414
資産計	91,702	81,214	△ 10,488

	2021年 3月末	2021年 9月末	前期末比
仕入債務	17,998	16,760	△ 1,238
短期借入金・社債	17,432	15,927	△ 1,505
その他流動負債	11,605	5,004	△ 6,601
長期借入金・社債	5,648	5,908	260
その他固定負債	17,724	17,424	△ 300
負債計	70,409	61,024	△ 9,385
株主資本	19,823	18,666	△ 1,157
その他の包括利益累計額	1,316	1,374	58
非支配株主持分	153	148	△ 5
純資産計	21,293	20,189	△ 1,104
負債・純資産計	91,702	81,214	△ 10,488

(百万円)

	2021年3月末	2021年9月末	前期末比
利益剰余金	17,307	16,150	△1,157
自己資本	21,140	20,041	△1,099
自己資本比率 (%)	23.1	24.7	1.6
有利子負債	23,334	21,835	△1,499
1株あたり純資産 (円)	167.5	158.8	△9

	2020年9月末	2021年9月末	前年同期比
税金等調整前四半期純損失	-1,324	-904	420
営業活動によるキャッシュ・フロー	54	-917	△971
投資活動によるキャッシュ・フロー	-1,327	-774	553
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,952	-1,515	△3,467
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,335	12,680	△1,655

受注高・受注残高の推移

(百万円)

	2020年度上期	2021年度上期	前年同期比
受注高	28,939	33,158	4,219
受注残高	63,248	63,622	374

設備投資及び減価償却費の推移

(百万円)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度上期
設備投資額	3,122	2,356	2,946	2,224	773
研究開発費	1,469	1,677	1,732	1,505	644
減価償却費	2,280	2,215	2,206	2,293	1,118

従業員の推移

(人)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度上期
従業員数	2,948	3,002	3,078	3,055	3,000
増 減	+2	+54	+76	△23	△55

Ⅱ. 2021年度の業績予想

【連結】

(百万円)

	2020年度		2021年度			
	実績		予想		前年同期比	
		売上比	適用前	売上比	増減額	%
売上高	92,396		96,000		3,604	103.9
営業利益	534	0.6	1,000	1.0	466	187.3
経常利益	898	1.0	870	0.9	△28	96.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	572	0.6	200	0.2	△372	35.0

(注) 2022年度3月期の期首より「収益認識基準に関する会計基準」等を適用しておりますが、影響額については算定中であるため、業績予想につきましては従来の会計基準を用いております。

- アルミ地金高騰の影響等により事業環境は厳しくなっているものの、営業強化や継続的な経費削減等、形材外販事業の抜本的改革により増収増益を見込んでおります。

窓から夢をひろげていきます
不二サッシ